

中央公民館大栄分館の建替えについて

老朽化に伴い、大栄分館を以下のスケジュールで建替えします。

令和7年12月	大栄分館の利用停止
令和8年1月～	解体工事
令和8年4月～	建築工事
令和9年4月～	新たな大栄分館のオープン

※工事期間中は、大栄分館事務所は図書館内の「ギャラリーゆらり」に移転し、公民館活動は図書館2階の会議室や大栄農村環境改善センターなどを拠点として継続します。

※大倉土地改良区と大栄町土地改良区は、本年12月中にJA鳥取中央大栄支所東側の旧生活センターに移転する予定です。

[外観イメージ]



新しい大栄分館は、現在と同じ場所に建設し、誰もが気楽に立ち寄り新たな町のランドマークとなるよう、大きな屋根のアプローチや、図書館とつながるデッキ広場などを設けます。

また、木の温かみのある内装が特徴で、キッズスペースやエレベーターを設置しバリアフリーにも対応。各部屋を可動式の間仕切りでつなぐことで大きなホールとしても利用可能です。

[内観イメージ]



なお、令和4年度のほくえい未来ラボ参加者からいただいた意見を設計に反映し「交流を育む未来につながる町の拠点」をコンセプトとしています。

誰もが集えるロビーを中心とした、
多目的に活用できる施設

交流を育む未来につながる町の拠点

ほくらボ提案・設計反映	コンセプト	イメージ(設計反映)
・カフェ空間(立ち寄りやすい雰囲気デザイン)	町の人々がつながり、みんなが交流し活動できる町の拠点	・外部の中心の明るく開けた「デッキ広場」に引き寄せられて、自然と交流が広がる
・人と人とをつなぐ公民館(他の活動が見える)		・「デッキ広場」は「図書館」「キッチンスタジアム」「展示スペース」に面して互いに交流を促す
・暖色系(木材)内装		・木の香る、温かみのある内装仕上げ
・町内外の人との地域づくり	コナン駅とつながり、図書館・体育館とつながり、町とつながるみんなの公民館	・コナン通りからのランドマークとなる「大屋根アプローチロード」と「デッキ広場」が公民館へと誘導する
		・「アプローチロード」は館内を貫き、川側からのアプローチを確保する
		・外観は、コナンの名前の生れたロンドンのまちなみをイメージしたレンガ調を基本として提案
・子どもがいつでも遊べる場所 ・キッズスペース	子どもたちや、町の人々と、観光客とも交流を促す新しい魅力	・入口近くの「事務室」はオープンカウンターでわかりやすく利用しやすい
・仕切りのない全体が見渡せるホール(多目的に使える) ・利用がないときは自由に遊べるホール		・「事務室」から「子育てフリースペース」「交流室」「キッチンスタジアム」を見通す風通しのいい公民館
・展示スペース		・「交流室」は防音可動間仕切で、活動の無いときはオープンで自由に利用できる想定
・避難所機能		・「展示スペース」は可動の展示パネルでフリーのオープンスペースとしても利用可能
・壁一面の鏡(多目的に使えるようにしまえる)・防音室 ・吊り下げスライドのパーテーション		・「キッチンスタジアム」は広いキッチンを囲んでの料理教室等を想定し、「交流ダイニング」と一体として多目的に利用可能
・避難所機能		・2階の「会議室」は防音可動間仕切で分割して利用可能 広いホールも設ける
		・2階に「和室」の交流室を設ける
	・2階の「交流スペース」には各活動グループのロッカーや休憩スペースを設ける	

「10年後の北栄町のためにどんな公民館が必要か？」

「その公民館は北栄町のどんな課題を解決するのか？」

↓各チームの提案(タイトル)

『つなぐ・つながる公民館～北栄町の未来へ～』

『子育てに優しい公民館』

『中の人を育て、外の人力を活用してたしかな豊かさを実現する公民館』

『これからの中央公民館大栄分館(コミュニティカフェ)』

R4ほくらボ意見を
設計に反映！



